

3月13日 進路に関して備えるべきことは

① 大学・短期大学・専門学校の違い(ざっくり言います)

大学(例: 経済学部に入った場合)

経済っぽいこと(専門科目)だけではなくそれ以外の学問(一般科目)も幅広く学び、4年間で自分の適性を見つけて卒業後に活かしていくところ

短期大学

大学の4年間で2年間に凝縮したものが短期大学(時間がかかりタイト)

専門学校 → () ところ

職業に直結 = 高校時代までに自分の将来像を固めておかななくてはいけない!

学費について

進路	金額
短大・専門学校(2年)	()
短大・専門学校(3年)	()
大学(文系)	()
大学(理系)	()

学費について ~いつ、いくら必要か?~

例) 入学金30万円、授業料80万円、施設費・実習費など60万円の学費を納入する場合 (単位: 万円)

	高校3年生	専門学校1年(前期)	専門学校1年(後期)	専門学校2年(前期)	専門学校2年(後期)
入学金	30	-	-	-	-
授業料	40	-	40	40	40
その他	30	-	30	30	30
合計	100	-	70	70	70

入学手続き時納入金...合格発表後、所定の期間内に納めるお金。

合格通知をもらったあと10日~2週間後には支払わなければいけない!

AO入試について

(私立大学) 8月出願 10月合格 (国立大学) 9~10月出願、11~12月合格

(専門学校) 6月エントリー、9月出願&合格 (あくまで目安です)

- ・関西では殆どの専門学校希望者がAO出願
- ・早い時期に学校決定⇒「思ってたんと違う」とならないように
- ・中退者の割合はAOによる入学者が多い

□学費の注意点

- ・基本的には二期分納(春と秋2回に分けて支払う) (※そうでない学校もある!)
 - ・1年目前期は高校三年時に支払う! 合格通知を貰ってから約2週間後⇒入学前に支払わなくてはならない
- ⇒入学金も支払うため高校三年次が一番多くの金額を支払う
- ⇒「推薦入試等で早く進学先を決めたい」=学費の準備も早急に行わなくてはならない!
- ・授業料・入学金以外にもお金が必要

受験にもお金がかかる！

大学・短期大学 大学入学共通テスト) 3教科以上-18,000円

2教科以上-12,000円

<国公立大学>二次試験：17,000円×2or3 (前期・中期・後期分)

<私立大学> 1学部(学科)：35,000円が一般的

専門学校 1校につき10,000円～30,000円が一般的

学費のサポート制度について

奨学金と教育ローンの違い

	奨学金	教育ローン
貸出時期	入学後	審査が通り次第、借りられる
借り主、返済者 (誰の借金?)	高校生=あなた	保護者
受け取り	入学後月々振り込み	審査が通り次第、一括で振り込み

奨学金は入学後にしか使えない、生徒自身にかかってくる借金です

日本学生支援機構の奨学金

		大学		短期大学・専門学校	
		自宅通学	自宅外通学	自宅通学	自宅外通学
第一種奨学金(無利子) ※上限額	国公立	¥45000	¥51000	¥45000	¥51000
	私立	¥54000	¥64000	¥53000	¥60000
第二種奨学金(有利子)		1万円単位で選択可能 (2万円～12万円まで)			

教育ローン

	融資額	返済期間
日本政策金融公庫	350万円以内	15年以内
中央労働金庫	最高1000万円	11年以内
JAバンク	10～500万円	11年以内

奨学金を予約するにあたって…

- ・無利子である第一種奨学金は狭き門。(鍵を握るのは評定平均=テストの成績) 4.0以上は必要?
- ・「必要かもしれない…」と思ったら必ず予約を…⇒予約をキャンセルしても特に罰はない!
- ・奨学金は入学後月々振り込まれる→入学手続き時納入金には使えない
- ・日本学生支援機構のHPで返済シミュレーションができるのでやってみる
- ・県独自、学校独自の奨学金について調べてみる

例) 進学にあたって第二種奨学金を4年間月々5万円借りたら…

奨学金の総額は()万円 ⇒月々()円を()年間返済していかなければならない

まとめ

- ・まずは自分が将来何をしたいのかを考える
- ・高校3年生の夏までには学費の準備をしておく⇒入学金+授業料+諸費を考えると100万円は必要
- ・教育ローンと奨学金の使い分けをよく考えておく⇒奨学金は入学前は使えない。
- ・少しでも不安であれば奨学金は予約しておく⇒予約後のキャンセルにペナルティはない
- ・保護者の方と今からしっかり相談しておく